

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名:木津川市地域公共交通総合連携協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

資料 6 - 3

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
奈良交通株式会社	きのつバス(梅谷高の原線) 梅谷～高の原駅の運行	前回事業において、事業の運行継続条件である1便あたり1.25人以上の利用者と、年間利用者数218,239人以上の利用者数はとも達成できた。引き続き確実な運行を実施するとともに、公共交通だより・HPによる情報の発信や新たな利用施策の検討を実施。	A 計画どおり事業は適正に実施された。	A 年間の利用者数は、116,070人、1便あたりの利用者は17.07人であった。また、3路線における利用者数の合計は、258,409人であった。 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに定める運行継続条件と、計画の目標である前々年度以上の利用者数(218,239人)とも達成した。	事業の運行継続条件と計画の目標数値とも達成はしている。今後も利用しやすいコミュニティバスの形成と(ダイヤ改正など)、利用促進策を実施し、更なる利用者数の増加を目指したい。
奈良交通株式会社	きのつバス(鹿背山高の原線) 鹿背山～高の原駅の運行		A 計画どおり事業は適正に実施された。	A 年間の利用者数は、44,957人、1便あたりの利用者は6.61人であった。また、3路線における利用者数の合計は、258,409人であった。 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに定める運行継続条件と、計画の目標である前々年度以上の利用者数(218,239人)とも達成した。	
奈良交通株式会社	きのつバス(木津川台高の原線) 木津川台住宅～高の原駅の運行		A 計画どおり事業は適正に実施された。	A 年間の利用者数は、97,382人、1便あたりの利用者は14.32人であった。また、3路線における利用者数の合計は、258,409人であった。 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインに定める運行継続条件と、計画の目標である前々年度以上の利用者数(218,239人)とも達成した。	

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月27日

協議会名:	木津川市地域公共交通総合連携協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>第二次木津川市総合計画及び木津川市地域公共交通計画に基づき、活力と魅力あるまちづくりを推進し、地域特性はもとより環境負荷の軽減、地域活性化、交通弱者等が安心安全に移動できる生活環境に配慮した地域公共交通サービスの充実を図ることを目的として、木津川市コミュニティバス「きのつバス(梅谷高の原線・鹿背山高の原線・木津川台高の原線)」の運行を行っている。</p> <p>このような状況下において、生活に必要不可欠な通院や買物、公共施設への移動における交通ネットワークとしての路線を維持することにより、地域間の広域的な移動手段を確保することを目的に事業を実施するものである。</p>